

[TOP](#) > 山上の光賞

平成27年5月12日（火）、ANAインターコンチネンタルホテル東京「プロミネンス」において、第1回「山上の光賞（さんじょうのひかりしょう）」の授賞式が執り行われました。山上の光賞は、今回新設された、日本の健康・医療分野で活躍する75歳以上の方々を称えるプログラムです。高齢化社会の日本において、高齢を迎えてなお、その知性や経験、知識を駆使され、後に続く世代の歩むべき道を照らす「山上の光」として活躍されている方々を顕彰することにより、さらに多くのシニア世代の方々に勇気づけ、活動し続けることの素晴らしさを伝えることをめざしたプログラムになっています。



川室優理事長 と 本間玲子TRUE先生

この度、以前からかかわりの深い『本間玲子TRUE』先生を公衆衛生部門において、当法人の川室優理事長より推薦させていただきました。また、全国訪問看護事業協会の伊藤雅治会長からもご推薦されました。全国から多くの候補者がおられる中から選出され、受賞されました。

本間先生はアライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院日本校の名誉教授をされています。本間先生は23歳の若さで渡米、社会福祉士と臨床心理士の資格を取得され、生涯をかけて日米の精神保健活動の教育指導ならびに公衆衛生活動に尽力されました。平成元年に発生したサンフランシスコ大震災の際は、市民のトラウマケア援助リーダーとして活躍され、その後の阪神淡路大震災では「災害こころのケア援助活動」により災害復興に多大な影響を与えられました。現在も教鞭をとられ、国内でのカウンセラー養成や精神保健従事者の指導にあたられています。

この場をお借りしまして、あらためて本間先生に敬意を表し、お祝いを申し上げますと思います。本当におめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。



聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生(103歳)と受賞者の皆様

[山上の光賞のページへ](#)

[アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院日本校のページへ](#)